



行事予定表		
2	土	運動会
6	水	尿検査提出日 絵本の読み聞かせ(5歳児)
7	木	歯科検診(10時～)／サロン
12	火	筑波山登山(5歳児)
14	木	カレーの日／内科検診(15時～)
19	火	ピヨピヨひろば(給食を食べよう) 交通安全教室(4・5歳児)
20	水	秋遊び交流会(5歳児) おべんとうデー
21	木	リトミック(3歳児以上)／サロン
22	金	不審者対応訓練
28	木	誕生会
29	金	避難訓練



秋になっても暑い日が続き、台風が幾度もやってきて、豪雨が続き、各地にひどい爪痕を残しました。綿ふたばが浸水しました。泥まみれになり、泥を除去し、繰返し清掃・消毒をしました。その後の対応で、肉体より精神的に疲れました。

この災害は、自然環境の破壊による地球温暖化が原因であることは確かです。今さえよければ、自分達さえよければ、子ども達の未来がどうなってもよいわけはありません。

まるで梅雨の晴れ間のような日に、子ども達と園外に出かけました。抜けるような青空、遠くに牛久大仏と筑波山がシルエツトになり、白い雲がゆったりと流れていました。

秋がすいぶん短くなりました。本来なら、もう自然の装いが美しく変化する時です。子ども達に豊かな環境を残さなければならぬと思います。

「廊下は歩きましょう！」

園では、子ども達に「廊下は歩こうね」「走っては駄目だよ」と否定語はなるべく使わずにと伝えていきます。園内には乳児や、妊婦の方もいらっしやいます。私達も子ども達に「廊下は歩く」ということを繰り返して伝えていきますが、お家の方も伝えて下さい。

今月の予定の中から・・・



●運動会(2日)

・いよいよ運動会ですね！園内で運動会を使用する曲が流れると、子ども達が自然に身体を動かし楽しむ姿が見られます。当日は、保護者の方々も一緒に運動会を楽しみましょう！

●尿検査提出日(6日)

・当日朝の尿をとり、10時までに提出を必ずお願いします。

●歯科検診(7日) 内科検診(14日)

・当日欠席の場合も、受診時間に来園して下さい、全員の方の受診をお願いします。詳細については11月の「ほけんだより」をご確認ください。

●筑波山登山(12日)

・先月、雨天で延期になった筑波山登山の日です。今度こそはと晴天を願い、5歳児全員で紅葉の筑波山を堪能して来る予定です。

●不審者対応訓練(22日)

・今年2回目の「不審者対応訓練」では、子ども達を怖がらせ過ぎないようにしながらも、保育士間でどう対処するかの訓練を行います。

●秋遊び交流会(20日)

・5歳児が牛久二小に行き2年生と一緒に歌を歌ったり、遊んだりして、就学への期待に繋がれたらと思います。持ち物もありますので、後日担任からお知らせします。

●誕生会(28日)

・誕生会の見学は誕生者の保護者の方対象とさせていただきます。どうぞ見いらしてください。

★お知らせ

・フードの無い薄手のジャンパーのご用意をお

願います。ジャンパーは、月曜日から金曜日まで園に置いて頂き、週末には持ち帰り、洗濯をお願いします。また、ジャンパーを掛ける子ども用ハンガーに名前を書いて一緒にお持ち下さい。

・以前勤務していた寺田久美子先生が勤務することになりました。また、非常勤の大和いづみ先生が11月9日から産休に入ります。

ご支援、ご協力ありがとうございました。

台風19号が各地に大きな爪痕を残しました。綿ふたば文化幼稚園は鬼怒川の越水により、大きな被害をこうむりました。5年前の鬼怒川の浸水により、想定される水位よりも、かなり高い防水壁を園独自に造り、設計事務所でも浸水対策は完璧とされていたので、まさかの事態でした。国交省の堤防工事が、どういうわけか、園のところだけ空いたままだったので、流れに勢いがついて、横から流入してしまいました。

1階部分は灌水して、泥水がたい積し、ほとんどの物が壊れ、電気、水道は復旧するのに長時間かかる状態でした。しかし、保護者・土木・建築業者・絹の職員は勿論、学園の他園の職員、その他、たくさんボランティアの皆さんがかけつけ、早朝から夜まで泥まみれになって、泥の除去・片づけ・清掃・消毒に奮闘し、疲労困憊でした。まさに「ふたばワン・チーム」の温かさを感じました。災害の大変さを本当に実感しましたが、このご支援を思うと、嘆いてばかりはいられません。「何のこれしき！」敗けません。特に休日を返上し、6日間連続で朝から夜遅くまで助けてくれた方もいました。心から感謝しています。もともと、もともと良い園にして、この恩に報いるように努めます。

そして、二つのことを考えました。人間は、他の動物と同じように、自然の中で生かされていること。人間は、今を生きているだけでなく、過去・現在・未来につながって生かされていること。どんなに科学や、技術が発達しても、この

自然と時間は制御することはできないのです。人間にはどうにもならないのです。

防水工事、防潮工事などのハード面の対策は必要であるが、人間が生きていくためには何が必要なのか、根本的なことを考えないと本当の対策にならないのではないかと思います。科学技術の発達で自然環境を破壊すれば、それは、そのまま人間に返ってきて、人間が生きている環境を失うこととなります。地球温暖化による環境破壊は人間の生存を危うくします。たび重なる台風の発生も、異常気象も、温暖化により、海水温度の上昇が原因であることは明らかです。温暖化がすすめば、台風は発生しやすくなり、巨大化します。温暖化を止めずに、自然に対抗するように、巨大なコンクリート築いても、さらに巨大化する豪雨・台風を防ぐことはできません。

人間は、今を生きているだけでなく、数万年もの人類の歴史を経て、何億もの遺伝子から選ばれ、生を受け、そして、未来へつながって、今を生かされているのです。現代社会は、祖先・家族が分断され、この時間の感覚を人々から失わせています。先祖がなければ今の自分はない。その遺伝子を未来につなぐため生かされているのです。そして、人間は、血を流し、命がけで「自由」を獲得してきましたが、そのことも未来に伝えていかなければなりません。先祖が獲得した自由です。自由、気ままに生きればい

わけではありません。今さえよければ、自分が死んだ後はどうでもいいわけではありません。こんなに環境破壊して、こんなに巨大債務を残して、今がよければいいわけがありません。子ども達は、とんでもない世界に生きることになります。将来、スウェーデンの環境活動家の少女ばかりか、子ども達からも、「あなた達を許しません！」と、トランプが睨まれたような目で言われぬように・・・

理事長 浅田 精利

